

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文 部 科 学 大 臣 殿

令和2年6月10日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																									
東京ベルエポック美容専門学校		平成20年10月31日		浮舟 洋子		〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目24番16号 (電話) 03-5658-9090																									
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																									
学校法人滋慶学園		昭和58年12月23日		浮舟 邦彦		〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																									
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																										
文化・教養	文化・教養専門課程	ヘアメイク科		平成31年文部科学省 告示号外第15号	-																										
学科の目的	クライアントの要望を的確に把握し、対応できる技術とともに、流行を敏感に察知でき、美容業界で活躍できる人材になる。																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	1710時間	1170時間	3300時間	0時間	0時間	0時間																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
130人	146人	6人	5人	24人	29人																										
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験及び臨時試験(論文・レポート含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価。A～Fで行う。																										
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月第4週～8月第4週 ■冬季:12月第4週～1月第1週 ■学年末:3月第3週～3月第4週			卒業・進級条件	学校長及び学校長が指名した者により構成される卒業進級判定会議を開催し、成績評価のD以上の者を合格とし進級、卒業を認定する。																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別カウンセリング、保護者連携			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生スタッフ活動・アシスタント現場活動・学校行事実行委員会 ■サークル活動: 有																										
就職等の状況	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) ヘアメイク事務所、美容室、アイラッシュサロン ■就職指導内容 業界・企業によるセミナーを実施し、個別面談を通して一人ひとりの希望にあった求人を紹介、指導 ■卒業生数 : 40 人 ■就職希望者数 : 39 人 ■就職者数 : 39 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 93 % ■その他 ・進学者数: 1人 (令和 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和1年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JESCメイクアップアーティスト検定</td> <td>③</td> <td>66人</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>JNECネイリスト技能検定3級</td> <td>③</td> <td>64人</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>認定フェイシャルエステティシャン</td> <td>③</td> <td>42人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>着付け(初伝中伝)</td> <td>③</td> <td>68人</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>おもてなしマスター検定</td> <td>③</td> <td>61人</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	JESCメイクアップアーティスト検定	③	66人	56人	JNECネイリスト技能検定3級	③	64人	64人	認定フェイシャルエステティシャン	③	42人	18人	着付け(初伝中伝)	③	68人	68人	おもてなしマスター検定	③	61人	60人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																												
JESCメイクアップアーティスト検定	③	66人	56人																												
JNECネイリスト技能検定3級	③	64人	64人																												
認定フェイシャルエステティシャン	③	42人	18人																												
着付け(初伝中伝)	③	68人	68人																												
おもてなしマスター検定	③	61人	60人																												
中途退学の現状	■中途退学者 11名 ■中退率 10 % 平成31年4月1日時点において、在学者 112名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和元年3月31日時点において、在学者 101名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 目的意識喪失、進路変更、精神疾患 他 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 中退防止:学生サポートアンケートによる個々の状況把握、個別カウンセリング実施、カウンセラー配置 中退者支援:転校・転科支援																														
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 合格後特待生試験合格者に対し初年度のみ授業料一部免除及びグループ校卒業生・兄妹姉妹グループ校卒業生に対し初年度のみ授業料10万円免除 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科のホームページURL	https://www.tbe.ac.jp/course/hairmake																														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。現場経験、講師経験豊富な企業と連携し教育を提供。カリキュラム、授業手法等、教材作成等の助言の協力が得られる体制がとれる企業を選定。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
 教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実践するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記されている。これらに基づき、カリキュラム検討会議で審議し、学校長許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年8月31日現在

名前	所属	任期	種別
古島 暉大	学校法人 滋慶学園 常務理事	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
浮舟 洋子	東京ベルエポック美容専門学校 学校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
片山 裕介	東京ベルエポック美容専門学校 副校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
鈴木 絵理	東京ベルエポック美容専門学校 事務局次長	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
小泉 哲郎	東京ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科 学科長	令和2年4月1日～令和4年3月31日	
鳥塚 ルミ子	一般社団法人 国際オーガニックセラピー協会 代表理事	令和2年4月1日～令和4年3月31日	①
秋山 貴和子	株式会社Smart1Beauty 代表取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日	③
奈良原 友美	ヘアメイクアーティスト	令和2年4月1日～令和4年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

2019年度 第1回 令和1年6月25日 15:45～17:30

2019年度 第2回 令和1年10月15日 15:45～17:30

2020年度 第1回 令和2年6月9日 13:30～15:30

2020年度 第2回 令和2年10月13日 13:30～15:30(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

技術だけでなく即戦力となるために時代に即した人材育成が重要である。また早期に業界を離れてしまう者も多く、技術も大事だが、キャリア教育と合わせて、様々なヘアメイクの在り方と伝えて行く必要がある。またSNS等を利用した自己表現とセルフプロデュースという委員会での意見を元に「美容総合技術Ⅱ」授業にて技術のみではなくこれらの要素を組み込んだSNSでの自己表現を授業を実施。またヘアメイクとして活躍していく上で作品作りも重要であるという意見から、創造性、感性を養うため「デザイントレーニング」科目内において実施。委員の改善案については、カリキュラム会議を学内で実施・決定後、教育課程編成委員会にて共有、ご意見を頂戴しながら実施していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

本校は卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、業界と連携し、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。そのため、特に演習科目においては現場で活躍するプロが講師として授業を行っている。卒業後即戦力として活躍できる人材を養成するための授業内容を、業界関係者とともに企画立案・実施達成度評価を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界の求める技術・知識水準を指導できる講師を連携企業から派遣してもらう。事前に学科長と連携企業の講師が授業前に、授業内容、評価等について定める。
連携企業講師には、シラバスの策定、試験の実施、評価まで行ってもらう。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
メイクアップ総論Ⅰ (1年次前期)	メイクの基礎を習得し、モデルに合わせた補正メイクができるようになる。また技術を施す上でモデルへの配慮を学ぶ。	有限会社ビアルケミスト
アシスタントプログラム	ヘアメイク業界について学び、現場に行けるために技術・知識を身に着ける	株式会社ビーサイド
特殊メイクⅡ (2年次後期)	ヘアメイクの職業に就くに辺り、必要なヘアメイク技術・知識を習得する。基礎的な技術を始め、美容のプロになるための心得を習得する。	株式会社テーブルカンパニー
美容総合技術Ⅱ (2年次後期)	サロンワーク系技術を中心に、作品撮りに必要なヘアメイク、ファッション、空間作りを学ぶ。	株式会社SORA
メイクアップ総論Ⅱ (1年次後期)	似合うメイクを提案できるようになる。全日本化粧品販売員検定ブロンズ合格を目指す。	一般社団法人 コスメティックアクターアカデミー 全国化粧品販売検定協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

指導力の修得・向上のための研修等として、滋慶教育科学研究所が実施する研修にて1年目向け、2～3年目向け、4～5年目向け等、段階を踏んで計画的に参加をしている。また専攻分野における実務に関する研修等に関しては担当する教員が最新の情報、技術が得られるよう研修に参加をしている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 検定試験におけるモデルハンドについて 」(連携企業等: 日本ネイリスト協会)

期間: 令和2年3月23日(月) 対象: 専任教員

内容: 検定試験におけるモデルハンドについてカリキュラム内容

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 FDレベルアップ研修 」(連携企業等: 滋慶教育科学研究所)

期間: 令和2年1月28日(火) 対象: 専任教員

内容: 学習促進型コーチングを用いた事例検討におけるコーチ役を育成する。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「 日本のヘアメイク 」(連携企業等: 東京地区理容師美容師養成施設教職員研修)

期間: 令和2年10月16日(金) 対象: 専任教員

内容: ヘアメイクに、なるには・なるまで・これから。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 教職員カウンセリング研修 」(連携企業等: 滋慶教育科学研究所)

期間: 令和2年9月9日(水) 対象: 専任教員

内容: 学生に対するカウンセリング力、知識を身に付ける。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

評価の内容を審議・評価することを通して、学園の理念でもある4つの信頼(学生、保護者、高校、業界、地域)に基づく、学校運営の改善に活かすことを方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人物像
(2) 学校運営	学校運営、運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定
(3) 教育活動	教育活動、目標の設定・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許取
(4) 学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者との連
(6) 教育環境	施設・設備等、学外実習・インターンシップ等、防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受入れ、学生募集活動、入学選考、学納金
(8) 財務	財務、財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守、関係法令、設置基準等の遵守、個人情報保護、学校評
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、国際交流、ボランティア活動
(11) 国際交流	(10)に含む

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より当学科はビジネススキルやマネジメントスキルも必要となってくるため社会人基礎力を踏まえた教育についての要望を受け、学内実習や各導入教育等、見直し・対策を立て、職業意識をもって行動できるよう全ての授業において人間教育に力を入れた取り組みをしている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年8月31日現在

名前	所属	任期	種別
吉岡 百合子	日本トータルデコレーション協会 会長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	業界団体
浅川 潤一	千葉商科大学付属高校 学校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	高校関係
森 章	拓殖大学紅陵高等学校 学校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	高校関係
空田 真之	江戸川区葛西・西葛西メトロセンター会 常務取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	地域関係
山根 純平	株式会社エルエスモード	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
齊藤 慶子	学生保護者代表	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: <http://www.tbe.ac.jp/school/info>

7月頃

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学内で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業生の離職防止等)を具体化するため、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。

企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員との間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出た意見を実行案へと反映させている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <http://www.tbe.ac.jp/school/info>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程ヘアメイク科) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			導入教育※	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	1前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅰ	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	1前	30	2		○		○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅱ	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	1後	30	2		○		○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅲ	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	2前	30	2		○		○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅳ	業界及び職種についての理解。就職内定に向けた身構え気構え心構えを習得する。	2後	30	2		○		○		○		
○			おもてなし	接客業において必要なおもてなしの心を育む。	1後	30	2	○			○			○	
○			メイクアップⅠ	クレンジングからベースメイクができるようになる。モデルに合わせた補正メイクができるようになる。	1前	60	4		○		○			○	
○			メイクアップⅡ	テーマに合わせたメイクアップ技術を学び、ブライダルや舞台メイクなどの技術が出来るようになる。	1後	60	4		○		○			○	
○			ネイルケア&アート	爪の構造や衛生管理の知識とともに、ネイルケア・カラーリング・ペイントアートの技術が出来るようになる。	1前	60	4		○		○			○	
	○		エステティックⅠ	エステのセッティング方法及びクレンジングやマッサージの基本知識・手技を身につける。	1	60	4		○		○			○	
	○		エステティックⅡ	肌別、目的別のフェイシャルエステ技術を身に付ける。	1	60	4		○		○			○	
	○		エステティックⅢ	AEA上級エステティシャン試験に合格できるフェイシャルエステ技術を身に付ける。	2	60	4		○		○			○	

○	コンテスト対策Ⅱ	コンテストに対応した独創性、創造性ある作品が作れるようになる。	2	60	4	○	○	○							
○	ボディエステⅠ	コンサルテーションに基づいたボディエステ技術ができるようになる。	1	60	4	○	○	○							
○	ボディエステⅡ	AEA上級エステティシャン試験に合格できるボディエステ技術を身に付ける。	2	60	4	○	○	○							
○	ボディエステⅢ	口頭試問に答えることができるようになる。カラーセラピー、リフレクソロジーを習得する。	2	60	4	○	○	○							
○	エステティック理論Ⅰ	アロマの種類、効能を理解しアロマセラピー検定1級が合格できるようになる。	1	60	4	○	○	○							
○	エステティック理論Ⅱ	クライアントのトラブルに合わせたトリートメントのプランニング応用ができるようになる。	2	60	4	○	○	○							
○	エステティック理論Ⅲ	CIDESCO筆記試験が合格できる技術を身に付ける	2	60	4	○	○	○							
○	エステティック概論Ⅰ	エステティック技術に必要な基礎理論を習得する。	1	60	4	○	○	○							○
○	エステティック概論Ⅱ	AEA上級エステティシャン試験に合格できるボディエステ技術を身に付ける。	2	60	4	○	○	○							
○	マシントリートメント	美容機器の使用方法和肌診断別トリートメントの技術を習得する。	1	90	4	○	○	○							
○	クライアント実習	外部クライアントに対し様々な症例の施術スキルを身につける。	2	120	8	○	○	○							
○	サロンワークⅠ	現場の実践をすることで運営を通してマネジメント力や現場力を身につける。即戦力となる技術を身につける。	2	150	10	○	○	○							
○	サロンワークⅡ	現場の実践をすることで運営を通してマネジメント力や現場力を身につける。即戦力となる技術を身につける。	2	90	6	○	○	○							
○	ビューティ技術論Ⅰ※	業界で活躍するプロの技術を学ぶ。	1	30	2	○	○	○							
○	ビューティ技術論Ⅱ※	業界で活躍するプロの技術を学ぶ。	1	30	2	○	○	○							

○	美容総合技術	サロン系技術や知識を身に着けることができる。	2	60	4	○	○	○
○	デザインヘアメイク	創造したイメージをヘアメイクを通じてデザイン出来るようになる。	2	60	2	○	○	○
合計			21	科目	1,710単位時間(113 単位)			

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
定期試験及び臨時試験（論文・レポート含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価。また、所定の教科科目及び所定の授業時間数【卒業認定要件：必修1,710時間（113単位）を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められた場合、卒業を認定する。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。